


安全データシート (SDS)

改訂：2022年12月1日

| 1. 化学品及び会社情報 | |
|--------------|-------------------------------------|
| 化学品の名称 | |
| 商品名 | ユーオイル スーパーハード (屋外用) エクストラクリア、クリア |
| 製品説明 | 種類：浸透性木部保護油性塗料 用途：外装用木部／内装可 |
| 会社情報 | |
| 会社名 | 株式会社 シオン |
| 住所 | 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目8-1 |
| 電話番号 | 019-677-7060 |
| FAX | 019-637-3190 |
| E-mail | info@xion.co.jp |
| 担当者 | 製造開発室 藤田 悠 |







| 2. 危険有害性の要約 | |
|--------------------------------|--|
| GHS分類 | |
| 物理化学的危険性 | 区分に該当しない：可燃性液体ではあるが、引火点が110°Cを超えているため |
| (注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない／データなし | |
| GHSラベル要素 | |
| GHSラベル要素 |  H227 可燃性液体 |
| 注意喚起 | |
| 予防 | P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 |
| 対応 | P378 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、泡消火器、乾燥砂などを用い消化する。 |
| 保管 | P233 容器を密閉しておくこと。 P235 涼しく風通しのよいところに保管する。 |
| 廃棄 | P501 産廃物の処理、清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分する。 |

3. 組成及び成分情報

化学的特性

物質または混合物の区別 混合物

全成分 精選亜麻仁油、紅花油、防蟻防虫剤、防腐剤、防カビ剤、UVカット剤、無鉛乾燥剤

| 危険な含有成分 | | |
|--------------------------------|---|------------|
| 成分名 | G H S 表記 | 含有量 |
| 防蟻防虫剤 防腐剤 防カビ剤 UVカット剤 |  H318 重篤な眼の損傷  H317 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ  H401 水生生物に毒性 | 5.0 - 7.0% |
| 無鉛乾燥剤 |  H226 引火性液体  H315 皮膚刺激 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ | 0.5% |

本品には以下の18物質は含まれておりません。
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、フタル酸ジ・n・ブチル、スチレン、クロルピリホス、ノナナール、テトラデカン、アセトアルデヒド、フタル酸ジ・2・エチル、ヘキシル、ダイアジノン、ヘノブカルブ、フタル酸エステル、リン酸エステル、有機リン

ホルムアルデヒド放散等級区分：告示対象外

官報公示整理番号・CAS番号・国連分類及び国連番号・PRTR法・化審法番号・労安法通知物質：該当なし

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | ミストを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 付着部又は接触部を石鹸で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合 | 直ちに多量の水で異物感がなくなるまで洗眼する。異物感がある場合は、眼科医の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 誤って飲み込んだ場合には、水でよく口の中を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける。 |

| 5. 火災時の措置 | |
|--------------------|---|
| 適切な消火剤 | 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。 |
| 消化方法 | 初期の火災には、上記の消火剤を用いて消化する。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効。 |
| 使ってはならない消火剤 | 水をかけると火災を拡大することがあるので、使用してはいけない。 |
| 消化を行う者の保護 | 消火作業の際には、必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。 |
| 6. 漏出時の措置 | |
| 人体に対する注意事項 | 十分な換気を心がけ、付近の着火源となるものを取り除く。 |
| 環境に対する注意事項 | 河川や下水に排出しないように注意する。 |
| 少量流出時 | 紙、布、ウェス等に吸収させて回収し、それらは焼却または地域条例に従い廃棄する。 |
| 多量流出時 | 火気を遠ざけ、バケツ、ヒシヤク等で汲み取り、密閉できる容器に移した後、可能な限りぬぐい取り、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。 その場合、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | |
| 取扱い上の注意事項 | |
| 取扱者のばく露防止策 | 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。作業衣に付着した場合は、その汚れを落とす。 取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。 |
| 火災、爆発の防止等の適切な技術的対策 | 取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。 取扱い時は、飲食及び喫煙をしない。発火源から遠ざける。 |
| 保管上の注意事項 | |
| 混合接触させてはならない化学物質 | 化学反応が起こる可能性があるため、他の化学系塗料と混ぜないこと。 可燃性や発火性のある薬品や、発火源からは遠ざけて保管すること。 |
| 保管条件 | 容器はしっかりと密閉して、換気良好な冷暗所に保管する。 植物油の粘度が上がってしまうため、なるべく0℃以下の場所には保管しないこと。寒い時期に使用する場合は、暖かい部屋で塗料をある程度温めて粘度が落ち着いてから使用すること。 |
| 8. ばく露防止及び保護装置 | |
| ばく露防止 | |
| 管理濃度 | 設定されていない |
| 許容濃度 | 設定されていない |
| 設備対策 | 不要 |
| 適切な保護装置・保護具 | |
| 眼と顔の保護 | 保護眼鏡等を着用し、眼に塗料が入らないように注意する。 |
| 皮膚の保護 | 保護手袋、保護衣を着用し、皮膚に塗料が付着しないようにする。 |
| 呼吸の保護 | 換気が十分でないときは、呼吸用保護具を着用する。 |

| 9. 物理的及び化学的性質 | |
|---------------|--|
| 物理的性質 | |
| 外 観 | 形状：常温で液体 色：麦茶色（塗装後はクリア色(やや黄色い濡れ色)の仕上がり) |
| 臭 | 僅かな亜麻仁油臭 |
| 物理的形態変化 | 沸点：194℃以上 融点・凝固点：データなし |
| 引 火 点 | 153℃以上 |
| 自 然 発 火 点 | 200℃以上 |
| 発 火 性 | 紙、布等に多量に蓄積すると、酸化熱により自然発火することがある |
| 燃焼又は爆発範囲 | データなし |
| 蒸 気 圧 | データなし |
| 蒸 気 密 度 | 1.0以上 |
| 比重(相対密度) | 0.84 ～ 0.88 (20℃) |
| 溶 解 性 | 水に難溶 |
| 分 解 温 度 | データなし |
| 10. 安定性及び反応性 | |
| 避けるべき条件 | 高温、過熱。 発火源から遠ざける。 |
| 安定性・反応性 | 通常の状態安定している。 空気と接触して徐々に酸化重合する。 |
| 危険な反応 | 塗料が浸透した布(ウェス)等が、熱を発生する恐れがある。(自然発火) |
| 混触危険物質 | 塗装後に変色する恐れがあるため、強酸性や強アルカリ性の物質と混ぜない。 |
| 危険有害な分解生成物 | 危険有害な分解生成物は知られていない |
| 11. 有害性情報 ※1 | |
| 急性毒性 | 経口：LD50 2,000mg/kg以上（限度試験） 吸入：データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | 知見なし |
| 眼刺激性 | 刺激性なし |
| 呼吸器感作性 | データなし |
| 皮膚感作性 | なし |
| 生殖細胞変異原性 | 陰性 |
| 発がん性 | 国際的機関で発がん性と評価された事例はない |
| 生殖毒性 | 生殖毒性なし |
| 特定標的臓器毒性 | データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | データなし |

| 1 2. 環境影響情報 | |
|----------------|--|
| 取扱い時の注意事項 | 漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるため、取扱いに注意すること。 特に、製品や洗浄水が、地面、川、排水溝に直接流れないように対処すること。 |
| 生 体 毒 性 | 製品としての情報なし |
| 残留性・分解性 | 製品としての情報なし |
| 生 体 蓄 積 性 | 製品としての情報なし |
| 土 壌 中 の 移 動 性 | 製品としての情報なし |
| 水性環境有害性 | 急性：水に対する溶解性が極めて低く溶解度以下では有害影響はない 慢性：低蓄積性 |
| 水性環境－急性有害性 | 製品としての情報なし |
| オゾン層有害性 | 製品としての情報なし |
| 1 3. 廃棄上の注意 | |
| 廃 棄 方 法 | 少量ずつ焼却廃棄する。 産廃物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分を行うか、委託をすること。 |
| 注 意 事 項 | 家庭ごみとは一緒に処分しないこと。 下水には流さないこと。 |
| 1 4. 運送状の注意 | |
| 陸 上 運 送 | 消防法、労働安全衛生法等、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。 |
| 海 上 運 送 | 船舶安全法に定めるところに従うこと。 |
| 運送の特定の安全対策及び条件 | 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。 |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしないこと。(内容物漏洩防止) ・可燃性液体なので「火気厳禁」。 ・その他、法令に定めるところに従う。 ・国連分類・国連番号(UN)・容器等級：該当なし |
| 1 5. 適用法令 | |
| 消 防 法 | 危険物第四類 動植物油類 |
| 化学物質管理促進法 | 防蟻防虫剤、防腐剤、防カビ剤、UVカット剤 ：危険物第四類 第3石油類 (非水溶性液体) 無鉛乾燥剤：危険物第四類 第3石油類 (非水溶性液体) 建築基準法改正の規制を受けない。 |
| そ の 他 の 法 令 | <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法 第57条2 (文章(SDS)の交付等)：該当しない ・毒物及び劇物取締法：該当しない |

| 16. その他の情報 | |
|------------|--|
| 参 考 資 料 | 1. 安全データシート作成資料 JIS Z 7253 : 2019 2. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂6版 3. 原材料の安全データシート (各原材料メーカー参照) |
| 備 考 | ※1 人についての症例、疫学的情報を含む。 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しており、情報の正確さや安全性を保証するものではありません。 取扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において安全にご使用ください。 本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。 |